

## 普及活動情勢報告

情勢報告（平成27年4月分）

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

### 促成ピーマン現地検討会の開催



\*写真は見学圃場。品種は「京鈴」。

4月18日、目ならしと現地検討会(参加農家数13戸)を実施しました。普及所からは、慣行品種「京鈴」「京ゆたか」と実証品種「No.511」の調査結果を報告しました。実証品種は果色が濃いうえに低夜温で栽培可能なことから、加温経費の節約になると現地の注目が集まっています。今後も調査を継続し、次年度の栽培への参考にしていく予定です。

### 集落営農を次のステップへ支援



4月21日、土居営農組合の役員会で、日本型直接支払制度の実施や、これからの集落営農の活動について協議されました。

普及所からは、町内の集落営農の法人の体制や現状などについて情報提供を行い、集落営農塾などへの参加を投げかけました。

結果、広域連携への参加が決まり、集落営農の協議を続けることが確認されました。

普及所は、集落営農の新設、法人化、組織間連携などの話し合いに参加し、関係機関とともに協議をサポートしていきます。

### 第9回農業塾の開催



育苗ほ場での研修

4月15日、直販所みどり市出荷生産者5名を対象に農業塾を開催しました。JA四万十から農薬の特性・安全使用及び野菜の病害虫防除方法、普及所から農薬の調製散布方法及び施肥量の計算方法を説明しました。また、現場の育苗農家も訪問し、自家製培土を使った野菜の育苗について研修しました。受講生は、農薬散布や育苗管理のポイントについて積極的に質問していました。

普及所では、JAと連携して受講生の栽培技術の向上と生産物の品質向上と収量増加を目指し支援していきます。

### JA高知はた十和支所茶業部会総会の開催



総会の様子

4月15日、JA高知はた十和支所茶業部会の総会が開催され、58名の部会員が出席しました。会議では、事業報告、事業計画、茶工場の稼働時期等について協議が行われました。

JAからは、老木の更新のための台切りについて、国や県の補助事業を活用して、H27には約1.4haの園地で実施予定との報告がありました。

普及所からは、近年、急増しているチャトゲコナジラミの対策について情報提供を行いました。今後も茶園の維持や収量、品質の確保に向けて支援を行っていきます。